

オクシズ材を使った木エワークショップ (静岡県)



木のウインドチャームづくり体験

<きっかけ>

- ①静岡伊勢丹が県産材の魅力を発信する「グローバルグリーンキャンペーン」を企画。
- ②静岡伊勢丹が静岡市林業研究会及び林業女子会@静岡に対して、来場者が県産材を手に取り、触れ、体験するイベントの実施協力の依頼。
- ③市林研メンバーが市街地活性化団体へ加入した事から、市林研と静岡伊勢丹が関係性を構築。

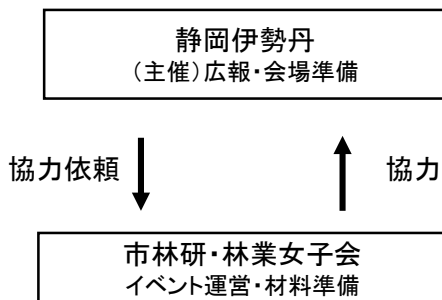
<目的>

- ・木にふれる機会を提供する。
- ・地域材(オクシズ材)をPRする。
- ・子どもへの啓発と共に、一緒に来店する親への啓発を行う。
- ・静岡市林業研究会・林業女子会@静岡の活動をPRする。

<内容>

- ・オクシズ材を使ったオリジナルの木の鉛筆と名刺作り:好きな枝を選んで鉛筆や木を薄くスライスした名刺を作る。
- ・1階正面玄関にオクシズ材を使用した装飾ブースを設置。気持ちがなごむオクシズの音が愉しめる仕掛けになっている。

<実施体制>



体験イベントの様子(手前きこり体験)

<3つのポイント>

- ・静岡伊勢丹とのコラボレーションで地域材をPR。
- ・地域材の知識をあまり持たない新たな層に訴求。
- ・毎年違った切り口で体験や装飾を展開。

静岡伊勢丹が毎年主催している「グローバル・グリーン・キャンペーン」において、静岡市林業研究会(以下、市林研)と林業女子会@静岡が協力し、奥大井、奥藁科、阿部奥、奥清水の4つの地域をさす「オクシズ」の魅力を発信する体験イベントを企画しています。第1回目の2016年においては、きこり体験や木のウインドチャーム・オリジナルフォトフレームづくり体験を実施。第2回目の2017年には、伊勢丹の正面玄関においてオクシズ材を使った装飾ブースや鉛筆・名刺づくり体験を実施しました。

<成果>

- ・子どもだけではなく、親又は祖父母と共に来場するケースが多かったため、子どもがワークショップをしている間に地域材や団体について説明する時間を設けることができた。
- ・林業関係のイベントの場合、林業や木材にもともと関心の高い層が来場する傾向にあるが、本事業は、伊勢丹という百貨店に買い物を目的として来場した人を相手にするため、地域材の知識をあまり持たない新たな層への情報発信・啓発をすることができた。

<課題>

- ・鉛筆づくりなどは、子供にはやや難しかったため、スタッフがかりきりになってしまい、一度に対応できる人数に限られる。
- ・地域材や種子類等と、デコレーションに用いる装飾品とのバランスが難しい。

<今後の展望>

静岡伊勢丹は、地域と連携する意識が高く、連携がスムーズに進んだ。今後も機会があれば活動を続けていきたい。

<経費>

- (静岡市林研)
経 費: 28,000円
財 源: 静岡市林業研究会予算
(林業女子会@静岡)
経 費: 50,000円
財 源: 自費、伊勢丹からの謝金(ワークショップ参加費分の売上げ及び材料費分)

<問い合わせ先>

(静岡市林研事務局(静岡市森林組合内))
TEL : 054-278-3141
(林業女子会@静岡)
E-mail : fg.shizuoka@gmail.com
URL : <http://fgshizuoka.com/>

<ここに注目!>

静岡伊勢丹という百貨店とのコラボレーションが実現でき、これまでリーチできていなかった方々に対して、地域材に触れる機会を提供しました。このことは静岡市林業研究会や林業女子会@静岡をはじめとするプレイヤーが、木材利用になじみの薄い層の興味を引くイベントを展開するための工夫を凝らしたからこそできたのではないかと感じました。